

令和 7 年度 総合南東北病院 院内 CBRNE 災害対応研修のご案内

(1) 開催目的

当院は福島県から地域災害拠点病院かつ原子力災害協力機関として指定されており、原子力災害時は放射線物質汚染傷病者の受入が想定されている。また、当院は災害拠点病院として、化学災害時や感染症流行時も傷病者の受入を担う可能性があるが、医療従事者側の対応には個人防護具の着脱等の技術の獲得と習熟が重要となる。

本研修では個人防護具の着脱等の実習や実災害時の患者受け入れシミュレーションを通じて、院内職員の CBRNE 災害対応の技術向上を図る。また今年度からは外部参加者も受け入れ、多職種での連携を意識した研修を実施する。

(2) 研修開催日時・会場

- 日時：2026 年 2 月 14 日（土） 9：30 ～ 16：00
- 会場：総合南東北病院 北棟 6F 第 2・3・5 会議室

(3) 実習内容（予定）

- 別紙のプログラムの通り

(4) 参加者募集人数

- ◆ 当院職員（最大 20 名）
 - 医師：4 名 ○ 看護師：10 名 ○ コメディカル：6 名
- ◆ 院外職員（最大 12 名）
 - 放射線技師会：6 名 ○ その他医療機関参加者：6 名

(5) お申込み方法

下記の URL あるいは QR コードにある Google フォームからお申込みください

◆ URL ◆

- <https://forms.gle/wKWtwVViDMjgx1tr7>

◆ QR コード ◆



(6) 研修当日の持ち物

- ① 筆記用具 ② 飲み物 ③ 昼食 ④ 動きやすい服装 ⑤ タオル

【服装に関して】

- (院内参加者) 看護師・コメディカルの方は普段のユニフォームでご参加ください。
事務担当者で業務中にスカート着用の方は動きやすい服装でご参加ください。
- (院外参加者) 動きやすい私服でお越しください

(7) 申込み締め切り

- 申込締め切り：2026年1月31(土) 正午

(8) 研修に関するアナウンスに関して

- 研修申し込み用の Google フォーム内でご回答いただいたメールアドレスに集合時間や必要事項等を随時アナウンスしていきます

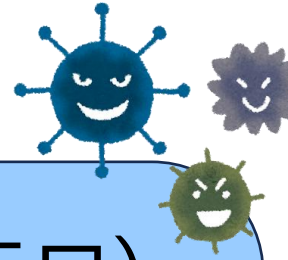
(9) 研修に関するお問合せ

- 担当者：災害医療部開設準備室 塚本宇史 (薬剤科所属)
- お問い合わせ先
 - ・内線：3697
 - ・外線：024-934-5672 (薬剤科につながりますので塚本を呼び出してください)
 - ・メールアドレス：takafumi.tsukamoto@mt.strins.or.jp

特殊災害：CBRNE災害とは？

【CBRNE災害とは？】

- ① **C** : **C**hemical 化学（テロ）
- ② **B** : **B**iological 生物（テロ）
- ③ **R** : **R**adiological 放射性物質
- ④ **N** : **N**uclear 核
- ⑤ **E** : **E**xplosive 爆発物



近年は国内の医療機関においてもCBRNE災害
対応への充実化が求められている

【地下鉄サリン事件当日の聖路加国際病院】



■（引用）NHKニュース ■（アクセス日）2024年1月1日
■（URL）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210320/k10012921231000.html>

【東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故】



■（引用）NHKニュース ■（アクセス日）2024年1月1日

■（URL）https://www3.nhk.or.jp/news/special/nuclear-power-plant-fukushima/feature/article/article_08.html

近年の代表的なCBRNE災害

【近年の国内外の代表的なCBRNE災害】

■ C（化学）

- 1995年 地下鉄サリン事件

■ B（生物）

- 2020年- 新型コロナウイルス感染症 パンデミック

■ R（放射性物質）

- 1999年 東海村JCO臨界事故
- 2011年 東京電力福島第一原子力発電所事故

■ E（爆発）

- 2005年 ロンドン同時爆破事件
- 2013年 ボストンマラソン爆弾テロ事件
- 2020年 バイルート港爆発事故

【バイルート港爆発事故の様子】



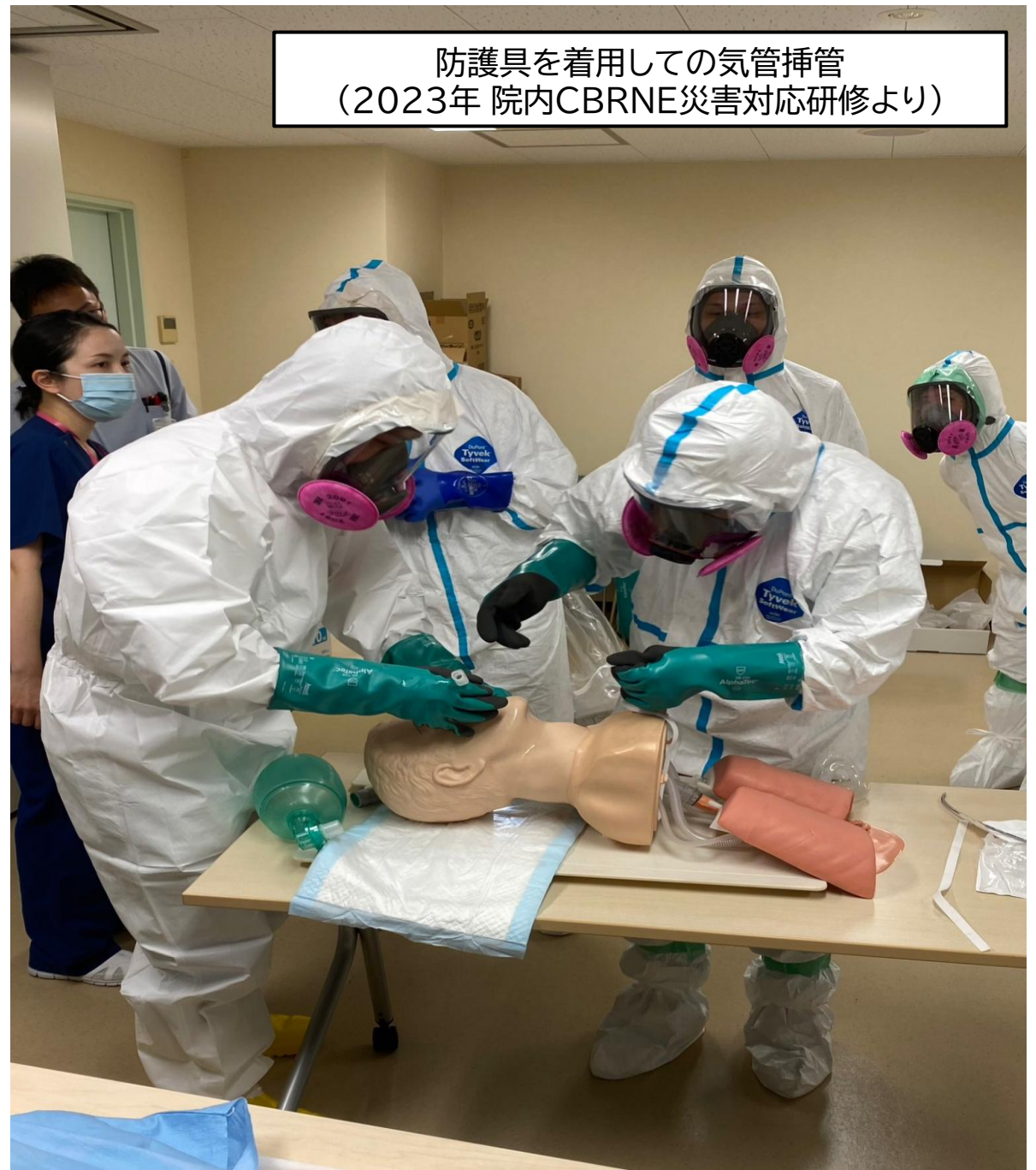
過去のCBRNE災害対応研修・訓練の様子

※注意※
写真はイメージです

個人防護具の着用
(2023年 院内CBRNE災害対応研修より)



防護具を着用しての気管挿管
(2023年 院内CBRNE災害対応研修より)



防護具の着用実習風景
(2022年 原子力災害医療中核人材研修より)



防護具を着用しての医療活動
(2021年 東北DMAT参集訓練より)





消防・警察のCBRNE災害対応
(2018年 福島県CBRNE研修より)



◆ 画像はイメージです ◆
院内の研修ではここまでの装備は取り扱いません

【案】令和7年度 総合南東北病院 院内CBRNE研修 プログラム (Ver.20251226)

※ 運営側の都合により研修プログラムは予告無く変更する場合がありますが、予めご了承ください

No.	時刻	時間	内容	講師	講義形式
1	9:15 ~ 9:30	15分	受講生受付	-	-
2	9:30 ~ 9:35	5分	はじめに・連絡事項	塚本	
3	9:35 ~ 9:55	20分	災害医療の基礎知識	塚本	講義
4	9:55 ~ 10:20	25分	CBRNEとは？	藁谷	講義
5	10:20 ~ 10:30	10分	休憩		
6	10:30 ~ 11:00	30分	化学災害対応の体制	塚本	グループディスカッション
7	11:00 ~ 12:00	60分	化学災害対応実習(防護具着脱・処置練習)	スタッフ	実習
8	12:00 ~ 13:00	60分	昼食		
9	13:00 ~ 13:30	30分	放射線災害 概論	秋山	講義
10	13:30 ~ 14:15	45分	放射線測定	秋山	講義・実習
11	14:15 ~ 14:30	15分	休憩		
12	14:30 ~ 15:45	75分	放射線災害対応実習(防護服着脱・患者受け入れ)	スタッフ	実習
13	15:45 ~ 16:00	15分	まとめ	藁谷・塚本	